

高等教育システム再編への課題

日 時：2025年3月17日（月）13：30～15：45
会 場：オンライン開催
主 催：日本私立大学協会附置 私学高等教育研究所

中央教育審議会大学分科会高等教育の在り方に関する特別部会では、将来の高等教育像を提示するべく協議がされており、国立・公立・私立の役割、規模、公財政支援の在り方、大学・地域・産業界との連携方策など、多くの課題が提示されている。少子化と都市部への若年層の一極集中により高等教育の様相が大きく変わろうとしている中、審議まとめにどの程度の具体的な指針が盛り込まれるであろうか？今回の審議まとめに注目が集まっている。

国土全体の健全な発展には、教育の多様性を維持し、知的基盤社会を生きる個々人の能力を向上する高等教育の整備が必要である。日本社会にとってより良い高等教育とはどういったものであろうか。本研究会では、こうした視点から高等教育について協議する。

講演1. 「大学教育投資効果と18歳人口の減少状況に基づいて(私立)大学の在り方を考える」 (13：30～14：30) ＊後半10分質疑応答

講師： 島 一則 氏（東北大学大学院教育学研究科・教育学部教授/本研究所研究員）

概要： 本報告では、教育経済学に基づく大学教育投資効果の計測結果と『中央教育審議会大学分科会（第174回）会議資料』（令和5年7月14日資料5-1）をもとに事例県（青森県）における大学進学者数のシミュレーションに基づいて経営困難化大学に関わる状況について報告する。そのうえで、今後の（私立）大学の在り方を、市場-政府・効率-平等の観点から考察する。

休 憩 （14：30～14：40）

講演2. 「大きな社会環境の変化と大学の在り方を考える ～誰も経験したことのない超少子化時代への対応～」 (14：40～15：40) ＊後半10分質疑応答

講師： 小林 浩 氏（リクルート進学総研所長・カレッジマネジメント編集長）

概要： 2108年のグランドデザイン答申以降、予想を上回るスピードで少子化が進行している。一方、グローバル化、技術革新の進展により、社会を取り巻く環境も大きく変化している。社会の中で、大学はどのように存在価値を発揮していくのか、考えてみたいと思う。

まとめ 西井 泰彦（本研究所主幹/就実学園理事長）

お申込み

日本私立大学協会webサイト (<https://www.shidaikyo.or.jp/>) “トピックス”の公開研究会の開催案内から「申込フォーム」に記入の上、2025年3月7日（金）までにお申し込みください。終了後に期間限定で行う録画配信をご希望の方もお申込みください。

○参加料は無料です。

○お申し込み時に登録されたメールアドレスに、申し込み完了の自動返信メールが送信されます。15分経過してもメールが届かない場合には、お手数ですが研究所までご連絡ください。

○本公開研究会は、web開催です。視聴用のURLと配布資料は、お申し込みいただいたメールアドレスに、開催日前日迄にご案内いたします。

○ご登録いただいた情報は、本研究所の事業運営に必要な範囲に限り利用いたします。

○講演内容等は変更になる場合がございます。

○録画・録音・撮影は、禁止とさせていただきます。

【問合せ先】日本私立大学協会附置 私学高等教育研究所 担当：坂下景子、高山亜弓

TEL・・・03-5211-5090 / MAIL・・・info@riihe.jp